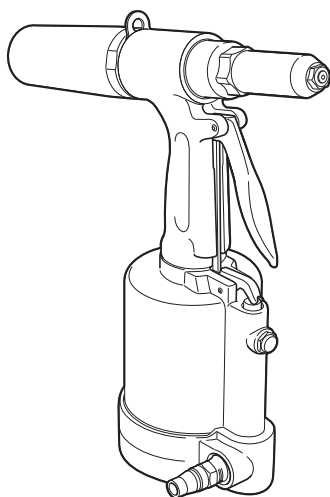


空気圧式リベット打機

品番 ARS-2448PA

エアリベッタ



各部の名称と機能 …… 2～3

本体各部 …… 2～3
 付属品 …… 2～3

安全上のご注意 …… 4～7

警告 …… 4～6
 注意 …… 7

ご使用前の準備 …… 8～10

シャフトケースの取り付け …… 8
 ノーズピースの交換 …… 8～9
 注油について …… 10

使用方法 …… 11～13

使用方法 …… 11～12
 終了方法 …… 12～13

保守と点検 …… 14～18

ジョーの交換 …… 14～15
 油圧オイルの注入 …… 16～17
 作業後のお手入れ …… 18
 注油について …… 18

故障かな?と思ったら …… 19

仕様 …… 20

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

このたびはエアリベッタをお買い求めいただき、ありがとうございます。

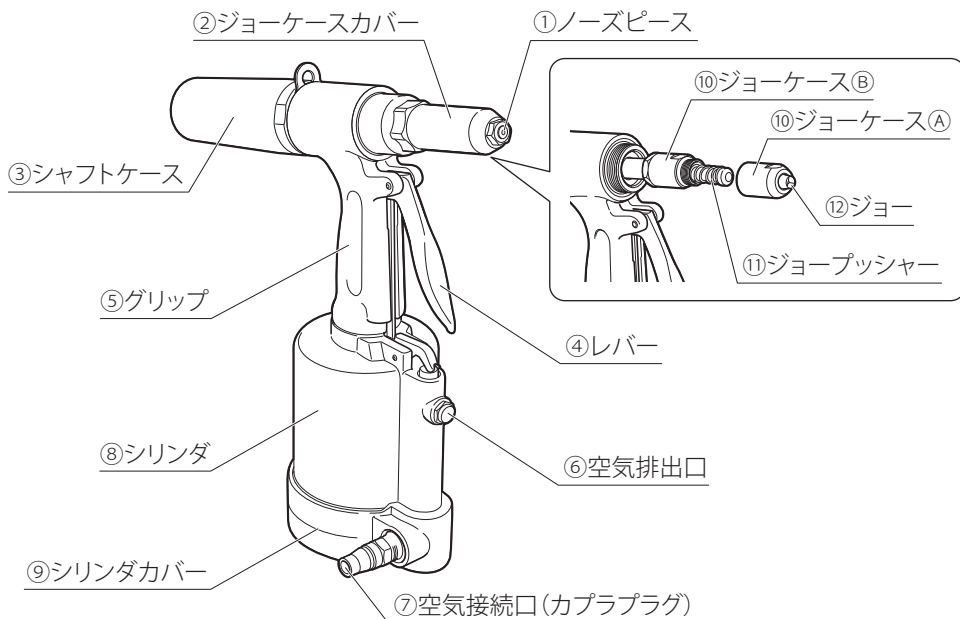
この商品は、コンプレッサで圧縮された空気を使い、効率よくリベットをカシメて、金属板など締結することができる工具です。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。
 お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。
- 当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社(下記・裏表紙記載)にご連絡ください。

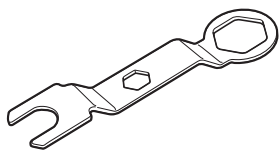


各部の名称と機能

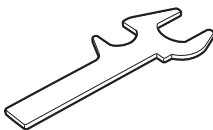
■ 本体各部



■ 付属品



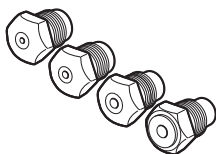
⑬ スパナA



⑭ スパナB



⑮ 交換用ジョー (3個1組)



① ノーズピース
2.4mm・3.2mm・4.0mm・4.8mm
(4.8mmは本体取付済)

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。
不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
①	ノーズピース (4.8mmは本体取付済)	リベットを差し込みます。使用するリベットに 合わせて交換してください。
②	ジョーケースカバー	リベットの切屑が飛散するのを防ぎます。
③	シャフトケース	リベット切断後のシャフトが排出されて、 ここに溜まります。
④	レバー	引くとリベットがカシメられ、リベットの シャフトが切れます。
⑤	グリップ	作業時の保持部です。
⑥	空気排出口	不要になった空気が排出されます。
⑦	空気接続口(カプラプラグ)	エアホースを取り付ける空気接続口です。
⑧	シリンダ	シリンダです。
⑨	シリンダカバー	シリンダカバーです。
⑩	ジョーケース(ⒶⒷ)	ジョーを保持するケースです。
⑪	ジョープッシャー	ジョーケース内のジョーを押さえます。
⑫	ジョー	リベットをつかみます。

No.	名 称	機 能
⑬	スパナA	ノーズピース・ジョーケースカバー・ジョーケースの取り付 け・取り外しに使用します。
⑭	スパナB	ジョーケースの取り付け・取り外しや固定位置ガイドに使用します。
⑮	交換用ジョー(3個1組)	交換用のジョーです。
①	ノーズピース 2.4mm・3.2mm・4.0mm・ 4.8mm(各1個)	使用するリベットに合わせて交換してください。

■部品別売表

品 名	品 番	入 数	品 名	品 番	入 数
ノーズピース 2.4mm	ARS-24NP	1個	ノーズピース 4.8mm	ARS-48NP	1個
ノーズピース 3.2mm	ARS-32NP	1個	ジョー(3個1組)	ARS-3JW	1セット
ノーズピース 4.0mm	ARS-40NP	1個	シャフトケース	ARS-SC	1個

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠ 警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

⚠ 注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容
『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容
『強制事項』です。

⚠ 警告



取扱説明書をよく読み、指示に従う。

・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。



リベットをカシメて、金属板等を締結することにのみ使用する。

・指定用途以外へのご使用は、重大な事故の原因となります。



下記の条件を満たす場所で使用する。

- 雨や水などがかからない、乾燥した場所
- 可燃性のガスや液体、揮発性可燃物や火気が近くに無い場所
- 足場が水平で、安定している場所
- 十分に明るく、ゴミやホコリの無い片づいた場所
- 子どもや、使用者以外が近づかない場所

・上記に反する場所での使用は、火災や感電、爆発などの重大な事故や、けがの原因となります。



分解・改造を行わない。

分解禁止

・事故やけが、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。



作業者及び作業者付近の人は、サイドが保護された保護メガネ・作業用手袋・防音保護具（耳栓・耳あて等）を着用し、きちんとした服装で行う。

- ・保護メガネは、作業中に万が一エアリベットが破損した場合や、打ち損じのリベット等の跳ね返りなどから目を保護します。
- ・作業用手袋は、稼動部分などから手を保護します。
- ・排気音や排気エアから耳を保護するため、防音保護具を必ず着用してください。
- ・作業環境に応じて、安全靴・手袋・ヘルメット・防じんマスク等を着用してください。


 **使用前に本機各部のねじにゆるみがないことを確認する。**

 **圧縮空気以外の動力源は、絶対に使用しない。**

- ・本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とするエア工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素やアセチレン、プロパンガスなど）は絶対に使用しないでください。爆発事故の可能性があり、大変危険です。

 **エアホースを接続する際は、以下の点に注意する。**


- ・レバーに手を掛けない。
- ・ノズピースにリベットを差し込まない。
- ・ノズピースを身体や人に向けない。

 **本機的能力を十分に発揮するために、内径6.5 mm以上のホースのご使用をおすすめします。**

推奨

 **エアコンプレッサとの配管や接続箇所を確認する。**

- ・確実に接続されていないと、エア漏れを起こし、作業能力の低下を招いたり、使用中にエアホースが外れ、思わぬ事故の原因となります。

 **本機は大切に取り扱い、誤って落としたり、ぶつけたりした時は、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。**

- ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ・エアホースを引っ張って本機を移動させないでください。破損の原因になります。

 **空気圧力は、0.5～0.7MPaで使用する。**

- ・0.7MPaを超える圧力で使用すると、本機の破裂や損傷の恐れがあり、危険です。

 **無理な姿勢で作業しない。**

- ・常に足もとを安定させ、バランスを保つようにしてください。

 **高所作業の際は、作業場所の近くに、エアホースの固定箇所を作る。**

- ・不用意にホースが引っ張られたり、引っ掛かったりする危険を防ぎます。

 **絶対に、ノズピースを覗き込まない。**

- ・リベットが詰まりを起こしても、絶対にノズピースを覗き込まないでください。不意に発射した場合、失明や重大な傷害を負う危険があります。

 **絶対に、ノズピースを人に向けたり、身体をノズピースに近づけたりしない。**

- ・誤射による事故やけがの原因になります。



安全上のご注意

必ずお守りください。

警告



近くに人がいないことを確認してから、打ち始める。

- ・打ち損じのリベットや破片などが当たり、けがの恐れがあります。
- ・高所作業を行う場合は、下に人がいないことを確認してください。本機や材料を落とした場合、けがの恐れがあります。



必ずシャフトケースを取り付けて使用する。

- ・切断したシャフトが本体後方から飛び出し、事故やけがの原因になります。



ジョーケースカバーを外して使用しない。

- ・ジョーケースで指を挟んだり、切屑が飛散して、事故やけがの原因になります。



空気排出口に顔などを近づけない。

- ・排出される空気やオイルが目や耳などに入る恐れがあります。



打ち込む時以外は、レバーに指をかけない。

- ・レバーに指をかけたまま、持ち運びやノーズピースの交換・エアホースの脱着などを行わないでください。誤射によるけがの恐れがあります。



次の場合は必ず、エアホースを本機から外す。

- ・ノーズピースを交換する時。
- ・リベット（シャフト）の詰まりを直す時。
- ・本機を持って移動する時や、他者に手渡しする時。
- ・修理や調整、点検整備を行う時。
- ・その他、事故が予想される時。



使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がした時は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または発売元まで連絡する。

- ・そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。



作業後は、必ずエアホースを本機から取り外し、本体内のシャフトを取り除く。

- ・エアコンプレッサを止め、エアホースを本機から取り外してから、本体内にシャフトが残っていないかを確認し、残っていた場合は本体後方から排出してください。本体内にシャフトを残しておくと、次回使用時に事故が起こる可能性があります。



油圧オイルを注入する時は必ずジョーケースカバーを外す。









- ・ジョーケースカバーを外さずに注入すると、適正量以上の油圧オイルが入り、故障や事故の原因になります。



定期点検を実施する。

- ・本体や付属品に損傷が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になります。

⚠ 注意

- 
作業場はいつも明るく、きれいにする。
 - ・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因になります。
- 
騒音対策を行う。
 - ・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲の迷惑にならないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
 - ・作業に支障をきたさない範囲で、エア圧力を低くしてご使用ください。
 - ・必要であれば、遮音壁を設けて作業を行ってください。
- 
必ずリベットサイズに合ったノズピースを取り付けて使用する。
 - ・ノズピースを取り付けない、またはリベットサイズに合っていないと、正常に動作しません。本体内にシャフトが詰まるなど、故障の原因になります。
- 
リベットのツバがノズピース先端部に当たるまで、確実に挿入する。
 - ・確実に挿入されていないと、正常に動作しません。本体内にシャフトが詰まるなど、故障の原因になります。
- 
ノズピースのねじ部にシールテープを巻かない。
 - ・ノズピースが適正位置で固定されず、故障や事故の原因になります。
- 
本機及びエアコンプレッサを、エア充填のまま長時間直射日光の当たる場所に、放置しない。
 - ・タンク内の圧力が高くなりすぎ、事故の原因になります。
- 
エアコンプレッサのドレン(水)を毎回抜く。
 - ・エアコンプレッサで空気を圧縮すると、空気中の水分が凝結し、エアタンクの底や配管内にドレンとなって溜まります。このドレンを毎回点検し、ドレンコックから抜いてください。
 - これを怠ると、湿気などで本機の腐食や磨耗の原因となります。
 - 詳しくはお使いのエアコンプレッサの取扱説明書をお読みください。
- 
下記の条件を満たす場所で保管する。
 - ・雨や水などがかからない、乾燥した場所
 - ・子どもや、管理者以外が近づかない場所
 - ・直射日光の当たらない場所



ご使用前の準備

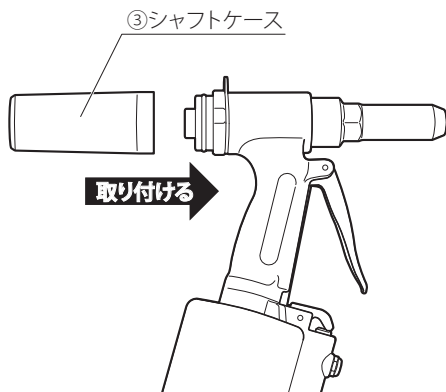


部品を取り付ける前に、必ずエアホースを本機から取り外してください。

■シャフトケースの取り付け

1 シャフトケースを取り付けます。

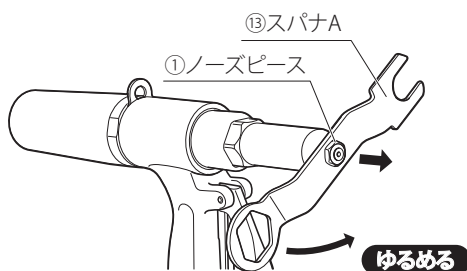
- 取り付けにくい場合は、シャフトケースをねじりながら押し込んでください。



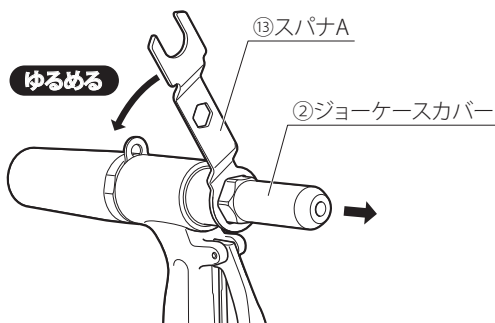
■ノーズピースの交換

1 付属のスパナAでノーズピースを取り外します。

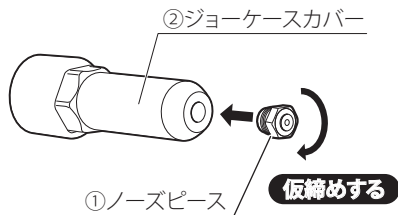
- 出荷時は4.8mm用ノーズピースが取り付けられています。



2 付属のスパナAでジョーケースカバーを取り外します。



3 ジョーケースカバーにノーズピースを仮締めします。



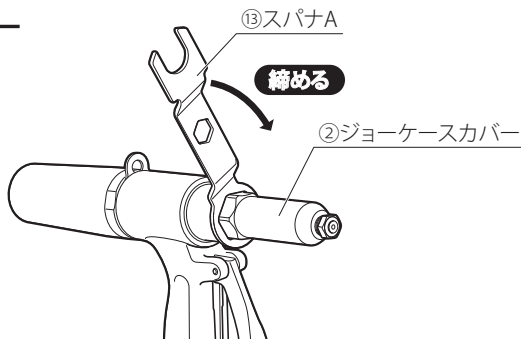
使用するリベットのサイズに合わせてノーズピースを選んでください。

リベットサイズ

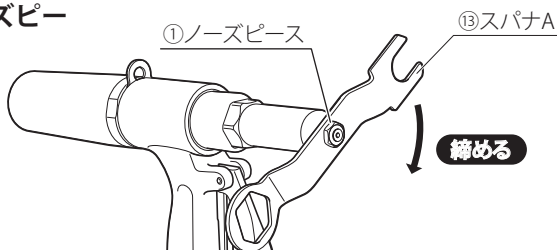


リベットサイズ	ノーズピース
φ 2.4	2.4mm
φ 3.2	3.2mm
φ 4.0	4.0mm
φ 4.8	4.8mm

4 付属のスパナAでジョーケースカバーを取り付けます。



5 付属のスパナAでノーズピースを本締めします。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



ご使用前の準備



使用前は、必ず注油を行ってください。
圧縮空気中の水分で錆が発生し、本機が動かなくなることがあります。

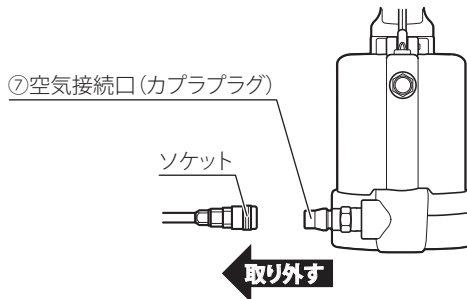


本品にはオイルは付属されておりません。潤滑油は、市販の粘度ISOVG32タービンオイル、または粘度SAE10W、SAE20Wモーターオイルをご使用ください。

■注油について

1

エアホースを取り外します。



2

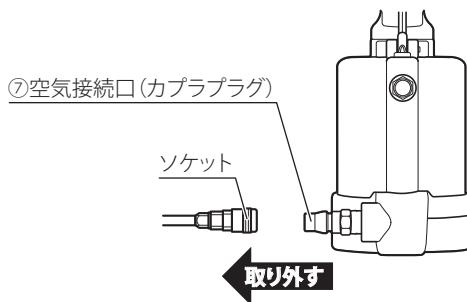
潤滑油をカプラプラグから数滴注油します。

- 注油後、再度エアホースを接続し、2～3回空打ちをして、本体内部全体に潤滑油を行き渡らせてください。



3

エアホースを取り外します。





使用方法



必ず内径6.5mm以上のエアホースを使用してください。

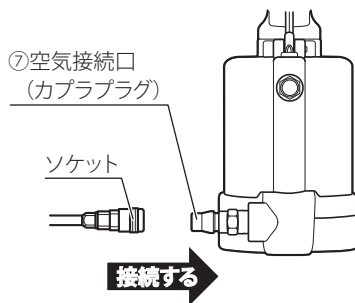
コンプレッサは、1.10kW {1.5PS} 以上を推奨します。

小型のコンプレッサでも使用はできますが、空気が溜まるまで待つ断続的な作業になる可能性があります。

■使用方法

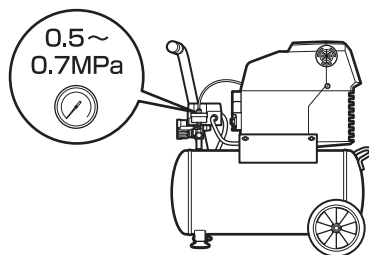
1 エアホースを接続します。

- エアホースのソケット部を本機のカプラプラグに接続します。



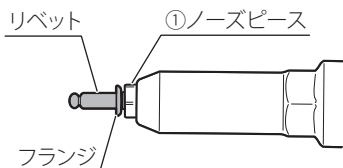
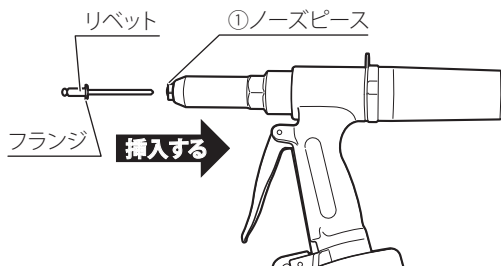
2 コンプレッサから圧縮空気を送ります。

- 圧縮空気の圧力は、0.5MPa程度から始め、必要に応じて徐々に上げてください。



3 リベットをノーズピースに挿入します。

- リベットのフランジがノーズピース先端部に当たるまで挿入します。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



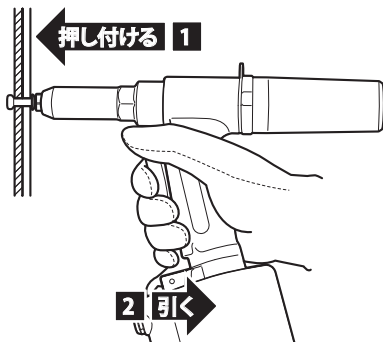
使用方法

■使用方法（つづき）

4 リベットを打ち込みます。

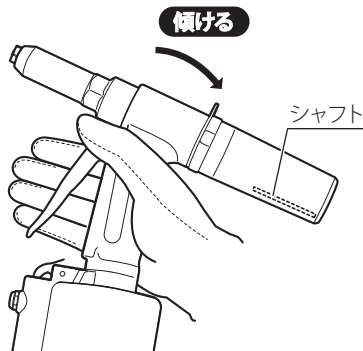
- カシメたい穴にリベットのフランジが当たるまで確実に押し付け、レバーを引いてください。

! 打ち込んだ後レバーを長く握ってから放すと、空気排出口から空気が出続けます。この時は一旦圧縮空気の供給を止めて、数回レバーを引いてください。連続して使用する場合は再度圧縮空気を供給してください。



5 本体を後方へ傾けて、シャフトケースへシャフトを送ります。

- 内部にシャフトが残っていると故障の原因となります。
- 連続作業を行う場合は、シャフトケースからこまめにシャフトを取り出してください。取り出さないと本体内部のシャフトがうまく排出されることがあります。

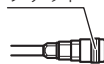


■終了方法

1 エアホースを取り外します。

⑦空気接続口（カプラプラグ）

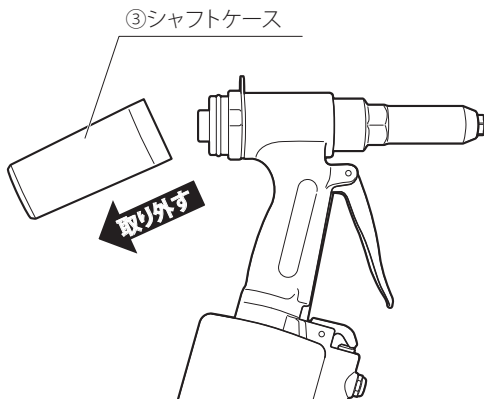
ソケット



取り外す

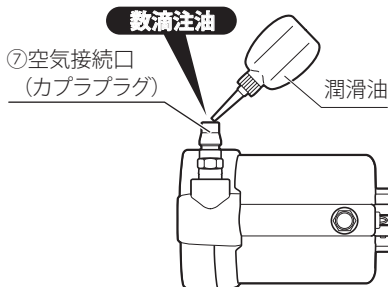
2 切断したシャフトを取り出します。

- シャフトケースを取り外して、排出されたシャフトを取り出してください。

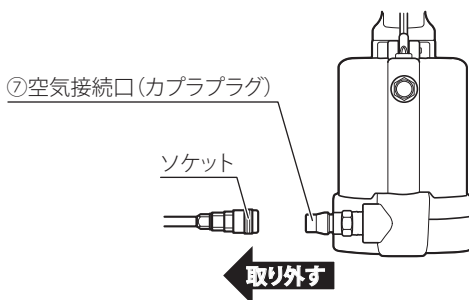


3 潤滑油をカプラプラグから数滴注油します。 P10

- 注油後、再度エアホースを接続し、2～3回空打ちをして、本体内部全体に潤滑油を行き渡らせてください。



4 エアホースを取り外します。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



保守と点検

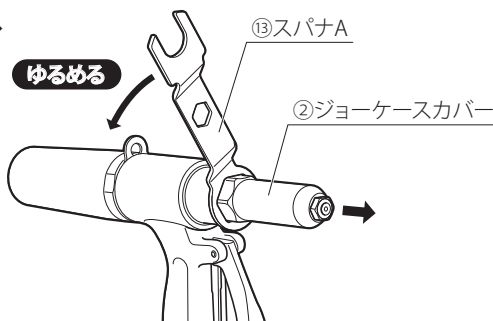


- ・ジョーの交換の際は、必ずエアホースを取り外し、本体内のシャフトを取り除いてください。取り除かずに作業をすると、事故やけがの原因になります。
- ・本品にはオイルは付属されておりません。潤滑油は、市販の粘度ISOVG32タービンオイル、または粘度SAE10W、SAE20Wモーターオイルをご使用ください。

■ジョーの交換

1

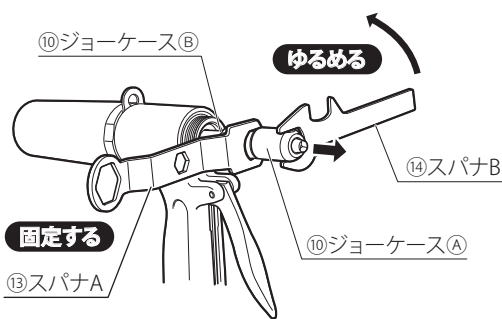
付属のスパナAでジョーケースカバーを取り外します。



2

付属のスパナAとスパナBでジョーケースAを取り外します。

- ジョーケースBをスパナAで固定し、ジョーケースAをスパナBで回してゆるめてください。

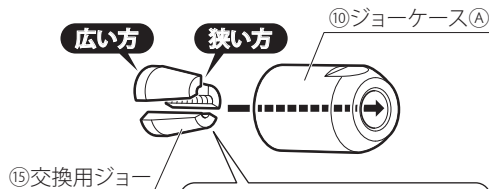


3

ジョーケースAからジョーを取り出し、新しいジョーを入れます。



- ・ジョーは3個で1組です。必ず1組の状態でご取り付けてください。
- ・ジョーは正しい向きで入れてください。

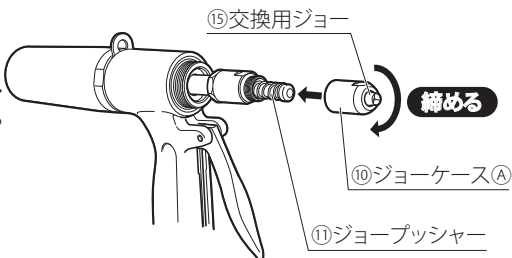


⑮交換用ジョー



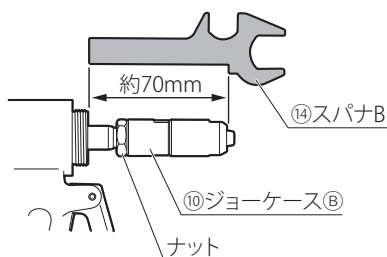
先端を揃えて、3個をかみ合わせてください。

- 4** ジョープッシャーでジョーを押さえるようにしながら、ジョーケース[Ⓐ]を本体へ取り付け、付属のスパナA・Bで締めます。

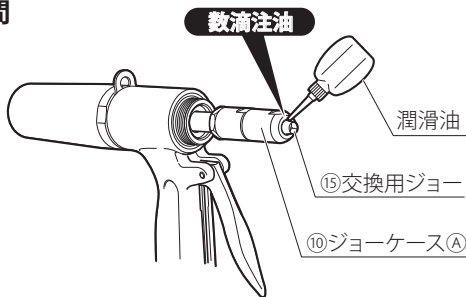


ジョーケースの位置が適切か、付属のスパナBで確認してください。適切でない場合は、以下の手順で調整してください。

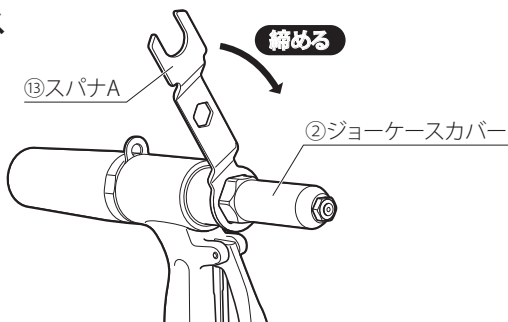
- ① ジョーケース[Ⓑ]を固定してナットをゆるめる。
- ② スパナBで位置を確認し、ジョーケースを適正位置に動かす。
- ③ ジョーケース[Ⓑ]を固定しながらナットを締めて固定する。



- 5** ジョーケース[Ⓐ]とジョーの間に潤滑油を注入します。



- 6** 付属のスパナAでジョーケースカバーを取り付けます。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



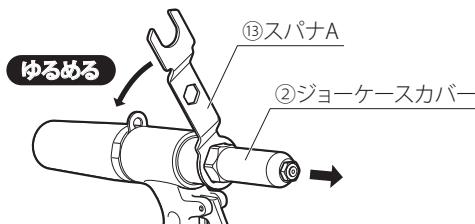
保守と点検



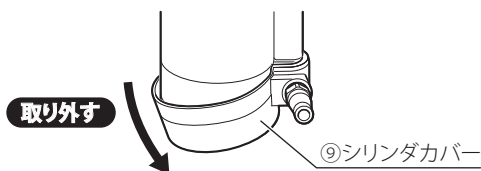
本品にはオイルは付属されておりません。潤滑油は、市販の粘度ISOVG32タービンオイル、または粘度SAE10W、SAE20Wモーターオイルをご使用ください。油圧オイルは粘度ISOVG68のオイルをご使用ください。

■油圧オイルの注入

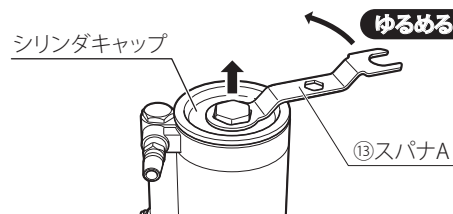
- 1** 付属のスパナAでジョーケースカバーを取り外します。



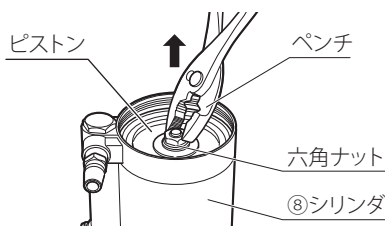
- 2** シリンダカバーを取り外します。



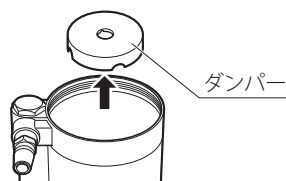
- 3** 付属のスパナAでシリンダキャップを取り外します。



- 4** ペンチ等で六角ナットを掴んでピストンをシリンダ内から引き抜きます。



- 5** ダンパーを取り外します。

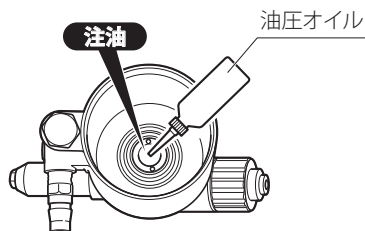


6 シリンダ内側とピストンのオイルをウエス等で拭き取ります。

7 オイル注入口に油圧オイルをあふれる寸前まで注入します。



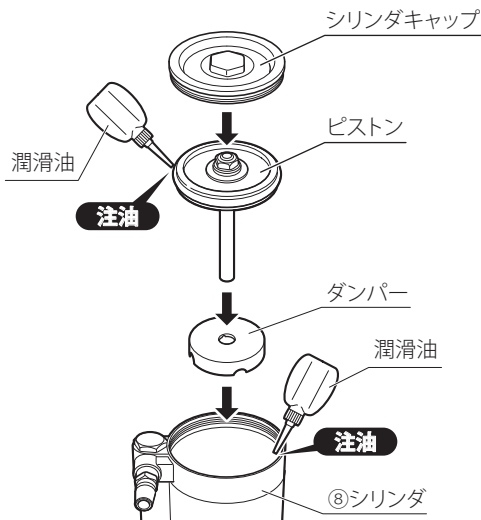
必ず本体を垂直に立てて注入してください。倒して注入すると、油圧オイルが適正量入れられません。



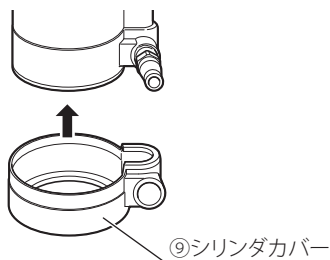
8 シリンダ内側とピストンに潤滑油を塗布し、分解と逆の手順で組み付けます。



- ・ダンパーの向きに注意してください。
- ・油圧オイル内、シリンダ内に、切屑やゴミが入らないように注意してください。



9 シリンダカバーを取り付けます。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



保守と点検

■作業後のお手入れ



切屑やゴミ等が溜まると故障の原因になりますので、必ず行ってください。

1

エアホース内の空気を抜き、本機からエアホースを外してください。

2

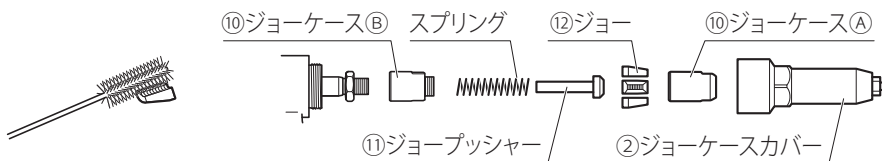
本体やグリップの油汚れなどをきれいに拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。



- ・ガソリン、シンナー、石油等での清掃は本体を傷めますので、おやめください。
- ・水洗いは絶対にしないでください。

3

ジョーケースカバー、ジョーケース(A)(B)、ジョー、ジョープッシャー、スプリングを取り外し、ブラシなどで掃除してください。 **P14・15**



4

シリンダ内側とピストンに潤滑油を塗布してください。 **P16・17**

5

各部取付ねじのゆるみ、本体の破損などの点検を行い、適切な場所へ保管してください。

- 各部取付ねじを点検し、ゆるんでいたら、締め直してください。
- 本体や付属品に破損が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になる恐れがあります。



次の場所には保管しないでください。

- 軒先など雨がかったり、湿気のある所
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 直射日光の当たる所

■注油について

- 毎回の使用前には、本体のカプラプラグへ数滴注油し、2～3回空打ちをして、オイルを本体内部全体に行き渡らせてください。 **P10**



故障かな？と思ったら

●次のチェックリストに沿った点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
リベットが入らない。	①ノズピースのサイズが合っていない	①フランジ径に合ったノズピースを選んでください。 P9
	②ノズピースまたはジョーケースカバーがゆるんでいる	②付属のスパナで確実に締めてください。 P9
	③ジョーケースの位置が適切でない	③付属のスパナで確認しながら、位置を調整してください。 P15
	④ジョーとジョーブッシャーのすべりがよくない	④ジョーブッシャーに潤滑油を塗布してください。 P15
	⑤本体内に切断したシャフトが残っている	⑤ジョーまたはジョーブッシャーに詰まったシャフトを取り除いてください。 P15
	⑥ジョーケースカバーを外さずに油圧オイルを注入したため、適正量以上の油圧オイルが入っている	⑥ジョーケースカバーを外して余分な油を取り除き、再度油圧オイルを注入し直してください。 P16・17
リベットが打ち込めない。または何度もレバーを引かないと打ち込めない。	①エアホースが接続されていない	①エアホースが確実に接続されているか確認してください。 P11
	②エアホースの内径が小さすぎる	②内径6.5mm以上のエアホースを使用してください。
	③エアホースが長すぎる	③エアホースを短くするか、径の大きいエアホースと交換してください。
	④エアコンプレッサの使用空気圧力が低い	④ご使用のエアコンプレッサの空気圧力を0.5～0.7MPaの範囲内で調節してください。
	⑤リベットのフランジ長さが被加工物の厚さに適していない	⑤被加工物の厚さに合ったリベットを使用してください。
	⑥リベットが確実に取り付けられていない	⑥リベットを正しく取り付けてください。 P11
	⑦ジョーケースの位置が適切でない	⑦付属のスパナで確認しながら、位置を調整してください。 P15
	⑧ジョーが摩耗している	⑧新しいジョーに交換してください。 P14・15
	⑨油圧オイルの量が足りない	⑨油圧オイル(粘度ISO VG68)を注入してください。 P16・17

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

型 式	ARS-2448PA
適用空気圧力	0.5～0.7MPa
適応リベットサイズ	2.4mm、3.2mm、4.0mm、4.8mm
使用油圧オイル	粘度ISO VG68
推奨使用ホース	内径6.5mm以上
空気消費量	2L / 本 (0.6MPa時)
本体質量	約1.5kg
セット内容	<ul style="list-style-type: none"> ●本体 1台 ●ノーズピース 2.4mm、3.2mm、4.0mm、4.8mm (本体取付済) 各1個 ●交換用ジョー 1セット (3個1組) ●スパナ2種 各1個 ●シャフトケース 1個

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品 名	エアリベット		お買い上げ日※	年 月 日
型 式	ARS-2448PA		保証期間	6ヶ月
お客様※	ご住所	〒	販売店※	住 所 名 電 話 番 号
	ご氏名	様		
	電話番号	- () -		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559
URL <http://www.paock.co.jp>